

## 三光院サロン 粘土で仏像づくり

お寺や博物館などで心惹かれる仏像に接したとき、そのお姿の崇高さに私たちは感動します。三光院の境内にも前住職・香栄禅尼が彫られた石仏が散見され、来院者の心を和ませてくれています。

一方、自分の手でも「ほとけ」を彫ってみたいと思う方は多く、カルチャーセンターの仏像彫刻の教室はいずれも盛況と聞きます。

三光院サロンでは仏師の新井田先生をお迎えし、初心者でも取り組みやすい「粘土で仏像づくり」の1日講座を試みます。先生は木彫だけではなく紙でも石でも素材にかかわらず、心を込めて形づくりと、それが立派な「ほとけ」になるとおっしゃいます。今回は手軽な粘土を用いて、世界にひとつしかない自分の仏像をつくりましょう。

### 記

- 1) 日 時 令和5年11月13日(月) 10時～16時(5時間、昼食持参・休憩1時間)
- 2) 場 所 三光院 十月堂
- 3) 講 師 新井田慈英(仏師) 天台宗僧侶、栃木県大慈寺法嗣(ほうし)。新たな仏像彫刻のほか、全国の仏像修復に携わる。仏像の説明は大変分かりやすいと好評を得ている。
- 4) 参加費 6,500円(教材、資料代含む) ※当日払い
- 5) 募集人数 18名(先着順で受付をし、定員に達した場合は取消待ちとなります)
- 6) その他 申し込みの方には10月下旬に、当日のご案内をお届けいたします。

古い仏像の胎内には、お経や小さな仏像のほか、願い事や櫛や針といった、遺品などが納められている事が多々あります。近代、あまりされなくなりましたが、三光院での作仏は、本来の祈りの籠った「自分だけの仏様」をご自身の手で造ります。

胎内に、願い事を筒に入れ、心棒とする三光院ならではの、オリジナルです。(新井田慈英)

#### 《粘土について》

- ・粘土は軽量石塑粘土を使う予定です。
- ・固まった後から粘土を継ぎ足すことができ、またナイフや彫刻刀で削るなどの加工ができます。
- ・乾燥後に水彩絵の具などでの着彩も可能です。
- ・乾燥時間は3～4日(作品の大きさによります)。※作品は乾燥後に取りにくくなるか、注意しながら持ち帰ります。

#### 【申込方法】

- \*メールで受付します E-mail : [3kouin.salon@gmail.com](mailto:3kouin.salon@gmail.com)
- \*件名は「粘土で仏像」、本文に申し込む旨と ① 〒・住所 ② お名前 ③ 電話番号  
をご明記の上、お申込み下さい。